

地域学研究会第10回大会 地域課題と知のクロス

「地域をえがく」

鳥取大学
Tottori University

—想像力としての地域学—



2019年 **11/24** 日

10:00～16:35 (9:30受付開始)
鳥取大学地域学部棟 5階 5160 講義室ほか

申込不要・参加無料

※参加の際に支援の必要な方は事前にご連絡ください
問合せ：鳥取大学地域学部庶務係 tel. 0857-31-5073

主催：鳥取大学地域学部

後援：鳥取県、鳥取県立図書館、新日本海新聞社
鳥取大学尚徳同窓会

基調講演 「小説で街をえがく」

基調講演



しば さき とも か
柴崎 友香 氏
(小説家)

1973年大阪生まれ。小説家。代表作に『きょうのできごと』(2000年:2003年に映画化)、『その街の今は』(2007年:芸術選奨文部科学大臣新人賞、織田作之助賞大賞、咲くやこの花賞)、『寝ても覚めても』(2010年:第32回野間文芸新人賞、2018年に映画化)、『春の庭』(2014年:第151回芥川賞)など多数。

地域学研究会第10回大会 地域課題と知のクロス

「地域をえがく—想像力としての地域学」

学部長挨拶

鳥取大学地域学部長 山根 俊喜



今年度の大会テーマは「地域をえがく—想像力としての地域学」と致しました。基調講演に小説家の柴崎友香氏をお招きする第10回目の記念大会となります。ひとりひとりの抱える切実な課題を乗り越えるための想像力。この身近な生活場面に散りばめられた想像力を、私たちはどのように見出していくことができるのでしょうか。そのとき地域はどのように理解され、えがかれることになるのでしょうか。「まちづくり」や「地域づくり」の語られる時代だからこそ、まち、ひいては地域をえがく想像力が問われてくるのだと思います。私たち地域学部は、これらの問いかけを学生・教職員のみならず、ゲストスピーカーや住民・市民の方々のお力添えと共に考えていきたいと望んでいます。多くの方のご来場を、心よりお待ちしております。

スケジュール

- 9:30 受付開始 (地域学部棟 5階 5160 講義室前)
- 10:00 開会挨拶・大会趣旨説明 (地域学部棟 5階 5160 講義室)

10:30 基調講演「小説で街をえがく」講師:柴崎友香氏(小説家)

5160 講義室

12:15 昼食

13:00 シンポジウム

5160 講義室

「私と街のできごとをえがく—身近で小さな変化から」

●蛇谷りえ氏(合同会社うかぶLLC共同代表)

2012年に「うかぶLLC」を共同代表で設立し、鳥取県東伯郡湯梨浜町にて複合型の滞在スペース「たみ」、鳥取市にて「Y Pub&Hostel」を開業。その他、県内外での印刷媒体を中心としたデザイン企画および制作、アートやメディアに関するコーディネート、マネジメント業を務める。

●佐藤紘一氏(鳥取県立図書館郷土資料課学芸員)

鳥取県立図書館にてデジタルアーカイブズ制作に取り組む。近年は鳥取県が舞台となった文芸作品の蒐集のみならず、文学テキストを風景写真とともにパンフレット化する事業に携わる。2019年度は『とっとり文学の情景—地域を見つめる旅』をテーマにした資料展と講演会の開催に取り組む。

●福田修三氏(株式会社インテリアフクタ会長)

「鳥取の台所」である鹿野街道筋中央の商家に生まれ、1959(昭和34)年に家業の福田ゴザ店を継承。1977(昭和52)年「インテリアフクタ」代表取締役就任し、創業120年の2013(平成25)年に社長を交代。その後、『鹿野街道筋物語』(2015年)、『因幡国2000年よもやま話』(2019年)などを次世代への歴史物語として編纂。

●佐々木孝文氏(鳥取市教育委員会文化財課)

同志社大学大学院文学研究科日本文化史学専攻修了(文化史学)。鳥取市歴史博物館学芸員を経て、2006(平成18)年より現職。近世・近代の文学や地方都市の都市計画などを素材に、社会史に関する論考を発表している。

15:10 休憩

15:20 質疑応答

5160 講義室

16:30 総括コメント・閉会挨拶

16:35 閉会

研究成果報告 地域学部棟 5階
(ポスター掲示)

会場へのアクセス



鳥取大学
地域学部棟 5階 5160講義室他
〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101

●お車で越しの場合は、第1駐車場をご利用ください。受付時にサービス券を発行しますので、駐車券を会場までご持参ください。

2019年

11/24日



申込不要・参加無料

問合せ: 鳥取大学地域学部庶務係
tel. 0857-31-5073

※参加の際に支援の必要な方は
事前にご連絡ください